

東部

春日

市島

ふくしのおたより

No.5

R6.8月



丹波市社会福祉協議会 ふくサポ 080-8546-8012

☎ 東部支所 74-0477 市島分室 85-0517

毎日「暑い暑い」しか言わない日が続いています。頑張りすぎず休み休みでいきましょうね。
鴨庄地区のかかし祭りに出展しました。廃材を使って作ったかかしで、出来上がると嬉しいです(^-^)
他の出展作品を参考に、来年に向けて考えています！

サマーボランティア・福祉体験教室

に挑戦!!

「福祉」を身近に感じてもらうことを目的に、福祉学習やボランティア活動に参加してもらいました。

春日地域

春日手話サークルおやゆび姫の会員を講師に、手話体験教室を開催しました。丹波市内の小中学生延べ26名が参加し、手話を使ったあいさつや自己紹介を教えてくださいました。また、ゲームを通じて「相手に伝える」ことの難しさも分かりました。

～感想～

- いろんな手話や指文字のやり方を知れてよかったです。
- いろいろな手話を学ぶことができ、手話を教えてもらうだけでなく、ゲームがあったので、とても楽しかったです。



手話伝言ゲーム



手話で自己紹介



カルタに挑戦!



フルーツバスケット



鴨庄地区



美和地区



竹田地区

市島地域

市島町内のコミュニティカフェで開店準備や掃除、配膳、注文取り、お皿洗いなどのお手伝いをさせていただきました。

～感想～

- たくさん話しかけられたり、お礼を言われて嬉しかった。
- 地域の人が自分のことを知っていてびっくりした。
- 飲み物をこぼさずに入れるのが難しかった。
- わからないこともすぐに優しく教えてもらった。

支援のバトン続いています

～市島地域能登半島地震のイベント時募金の取組み～



吉見地区の「いちじま川裾まつり」では募金の呼びかけとこれまでの支援の取組みも展示しました。

同地区が企画し、能登の特産品を販売して売り上げが寄付となる出店も登場しました。

石川県へボランティアに行ったという来場者は、商品の飲料を現地でも飲んだという縁で購入されていました。

↑「兵庫も助けてもらったから募金します！」という学生さんの姿も。



「あ、自分も関係することだ」

～支えあい推進会議のチカラ～



この会議は支えあいの体制づくりを話す会議で、各地区に設置が進めています。防災がテーマでも、避難経路や備蓄品だけでなく、普段の声かけや見守りに注目します。そして、自分の身近なところの話だったという視点で考えます。

例1 会議のテーマについての決め方「そういえば認知症についてよく聞くなあ」ということから

・自分の住んでいる地域はどうか？
近所でも話を聞いたなあ。
・正しい対応を知らないから学べるといいなあ。

・(研修後)こんな研修が自治会へ広がればいいなあ。
・見守りを兼ねた集まりがあれば、自分も親も安心だなあ。



例2 集いの場へ「行きたい」「来てほしい」という困りごとの声から

・前山地区では他地区の取組みを参考に、コミュニティカフェにデマンドタクシーを利用した住民に、帰りのチケット代を助成する取組みを開始

・他地区ではお昼の集いの時にデマンドタクシーを利用する。同じ交通手段でも、地域によって課題は違うため、取組みにも違いが出ている。

国領地区見守りカードのその後 ～地域のみんなに安心を～

国領地区支えあい推進会議では、見守りカードの内容を協議作成され、地区の全戸に配布されました。見守りカードは緊急時に駆け付けた方に必要なことが分かるように、緊急連絡先などを記載し家の中の目の付きやすいところに貼っておくカードです。

地区の中でおひとりで暮らされている80代の方に、お話しをお伺いすることができました♪

「見守りカードは記入して家の冷蔵庫に貼っています。1人だと特にこういった取組みは嬉しいし、続いてほしいと思っています。最近地震なども多いので、緊急時にも必要だと感じます。近所は高齢化で色々不安なことが多いです。グラウンドゴルフや農作業を生きがいに毎日過ごしています！」

こういう取組みを通じて、地域の皆さんが安心して暮らせる地域が広がっています。地域の方々の声を大切にしながら、今後も協議を続けていきたいと思ひます。



お話しを聞かせていただきました